

## 2025年度 東京都済生会中央病院 糖尿病・内分泌内科

### ① 英文論文

1. Shigeta A, Tanaka M, Meguro S, Morimoto J, Imai T, Yamauchi A, Kanazawa Y, Kawai T, Yanagawa T, Azuma K, Yamada S, Endo S, Sato Y, Itoh H, Hayashi K, Effect of administration and withdrawal of the sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor, tofogliflozin, on renal protection in individuals with type 2 diabetes mellitus and diabetic nephropathy: a multicenter, single-arm study (RESTORE-nephropathy study). **J Diabetes Invest** 2025; 16(5): 817-826
2. Shirai T, Inaba S, Maemura M, Saho M, Sato M, Sanada M, Tsukamoto Y, Inoue G, Nagahisa T, Tanaka S, Tanaka H, Kurata H, Katsuki T, Kawai T, Yamada S, Renal function trajectories of Japanese adults with diabetic kidney disease on different diet therapies including energy-restricted and low-carbohydrate diets: a retrospective cohort study. **Diabetology Int** 2025; 16(3): 493-503
3. Okazaki M, Katsuki T, Kurata H, Tanaka S, Tanaka H, Kawai T, Effects of a two-night hospitalization program as a specific health guidance on obesity and cardiovascular disease risk factors. **J Gen Fam Med** 2025; 26: 442-450

### ② 和文論文・書籍

1. 河合俊英。その他の併存症。感染症。糖尿病 最新の治療 2025-27。南江堂。P. 249-251, 2025年4月
2. 渥美義大、河合俊英。「糖尿病をもつ症例に、末梢神経障害の副作用を起こし得る抗がん剤を使用してよいか?」「第12章:その他の副作用関連」がん患者の糖尿病診療Q & A。第2版。京都。金芳堂。P. 244-248, 2025年5月
3. 渥美義大、河合俊英。「血管新生阻害薬で、心血管イベントなど糖尿病内科医が注意すべきことはあるか?」「第12章:その他の副作用関連」がん患者の糖尿病診療Q & A。第2版。京都。金芳堂。P. 249-255, 2025年5月
4. 渥美義大、河合俊英。「インスリン自己注射や、自己血糖測定が抗がん剤の副作用である皮膚障害と関連することはあるか?」「第12章:その他の副作用関連」がん患者の糖尿病診療Q & A。第2版。京都。金芳堂。P. 256-258, 2025年5月
5. 河合俊英編集委員長。日本糖尿病療養指導士認定機構。糖尿病療養指導ガイドブック 2025。東京。メディカルレビュー社。2025年5月29日。
6. 田中伸一、河合俊英。エビデンスでみる糖尿病・内分泌疾患。入院患者の血糖マネジメントに関する最新エビデンス。糖尿病・内分泌プラクティス Web. 2025; 3(6): 0091/ J Pract Diabetes Endocrinol. 2025; 3(6): 0091.

### ③国内学会発表

1. 田中 肇、田中伸一、香月健志、河合俊英。実臨床における2型糖尿病に対するチルゼパチド (TZP) の有効性と安全性の検討。第68回日本糖尿病学会年次学術集会。岡山。ホテルグランヴィア岡山。2025/5/29
2. 田中伸一、竹石潤平、田中 肇、香月健志、河合俊英。当院におけるSGLT2阻害薬増量による体組成変化の検討。第68回日本糖尿病学会年次学術集会。岡山。ホテルグランヴィア岡山。2025/5/29
3. 竹石潤平、田中伸一、前田崇宏、田中 肇、香月健志、河合俊英。当院における15年間の経口血糖降下薬の処方傾向：後ろ向き観察研究。第68回日本糖尿病学会年次学術集会。岡山。ホテルグランヴィア岡山。2025/5/30
4. 細川和広、河合俊英。フィネレノン投与症例における尿蛋白、腎機能 (eGFR) の推移。第68回日本糖尿病学会年次学術集会。岡山。ホテルグランヴィア岡山。2025/5/29
5. 前田崇宏、田中 肇、竹石潤平、田中伸一、香月健志、河合俊英。2型糖尿病と潰瘍性大腸炎の経過中に急性発症1型糖尿病の発症が示唆された糖尿病性ケトアシドーシス (DKA) の一例。第68回日本糖尿病学会年次学術集会。岡山。ホテルグランヴィア岡山。2025/5/30
6. 近藤 匠、田中伸一、前田崇宏、田倉裕介、田中肇、香月健志、河合俊英。免疫チェックポイント阻害薬投与後より続発性副腎不全を呈した1例。第705回日本内科学会関東地方会。東京。東京国際フォーラム。2025/6/14
7. 土方ふじ子、佐藤和子、柏山和美、香月健志、河合俊英。看護師が行う入院患者の爪切りについての現状調査。第31回全国済生会糖尿病セミナー。横浜。ステーションコンファレンス川崎。2025/8/23
8. 柏山和美、土方ふじ子、佐藤和子、川崎麻美、木下奈那、香月健志、河合俊英、田中肇、田中伸一、廣富優華、遊木一成、前田崇宏。急性期病院における糖尿病看護特定認定看護師の活動報告。第31回全国済生会糖尿病セミナー。横浜。ステーションコンファレンス川崎。2025/8/23
9. 廣富優華、田中伸一、前田崇宏、遊木一成、田中肇、香月健志、河合俊英。当院で経験した免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) 投与後に発症した免疫関連有害事象 (irAE) により入院した11症例の検討。第26回日本内分泌学会関東甲信越地方会。新潟。朱鷺メッセ。2025/9/6
10. 前田崇宏、田中肇、田中伸一、遊木一成、香月健志、河合俊英。甲状腺クリーゼを契機に糖尿病性ケトアシドーシスを発症した海外旅行中の1型糖尿病の1例。第26回日本内分泌学会関東甲信越地方会。新潟。朱鷺メッセ。2025/9/6
11. 山内果歩、田中伸一、前田崇宏、田中 肇、香月健志、河合俊英。HIF-PH阻害薬関連中枢性甲状腺機能低下症が疑われた一例。第35回臨床内分泌代謝Update。松本。ホテルブエナビスタ。2025/11/8
12. 斉藤絵里香、田中 肇、田中伸一、香月健志、河合俊英。ホルモン補充療法により肺炎入院が激減したSheehan症候群の一例。第35回臨床内分泌代謝Update。松本。ホテルブエナビスタ。2025/11/8

13. 伊藤 遥、田中 肇、山内果歩、前田崇宏、田中伸一、遊木一成、香月健志、河合俊英。アルコール性ケトアシドーシス合併メトホルミン関連乳酸アシドーシスを発症した 1 例。第 63 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会。横浜。パシフィコ横浜。2026/1/17
14. 中出理紗子、田中伸一、前田崇宏、遊木一成、田中 肇、香月健志、河合俊英。メトホルミン内服下でビタミン B12 欠乏による巨赤芽球性貧血を生じた 1 例。第 63 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会。横浜。パシフィコ横浜。2026/1/17
15. 島津伽奈、遊木一成、田中伸一、田中 肇、香月健志、河合俊英。抗 IA-2 抗体単独陽性の 1 型糖尿病の 1 例。第 712 回日本内科学会関東地方会。東京。東京国際フォーラム。2026/3/14